

活用

おたよりを読んで

◇次の図書館だより「本★だいすき！」は、図書委員会の江島さんが担当の先生といっしょに作ったものです。この図書館だよりを読んで、あとでどの問い合わせに答えてみましょう。

南川小学校 図書館だより 11月号

「本★だいすき！」

◆ 11月は読書月間です。みなさんにお読みの本を読んでほしいので、いろいろなイベントを行います。

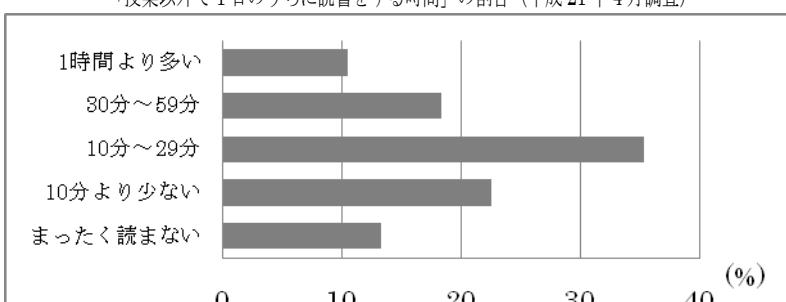
■イベントその1 ろう読げき『かさこじぞう』
・11月25日（水）13:15~13:40
・楽しい朗読劇を行います。

■イベントその2 しおりコンテスト
・11月2日（月）から9日（月）
・世界に1つだけのしおりを作成してみませんか。
くわしくは図書室にあるポスターを見てください。



あなたの1日の読書時間はどれくらい？

「授業以外で1日のうちに読書をする時間」の割合（平成21年4月調査）



時間帯	割合(%)
1時間より多い	10
30分～59分	18
10分～29分	35
10分より少ない	22
まったく読まない	12

(佐賀県の小学5年生 約8千人を対象にしています。)

読み聞かせカレンダー【11月】

12日（木） 「おまえうまそだな」 13:10~13:30 図書館	26日（木） 「三年ねたろう」 13:15~13:30 多目的ホール
--	---



二 一日の読書時間についてのグラフの説明で当てはまるものを選び、記号で書きましょう。

ア 一時間より長く本を読んでいる人は、まったく読まない人よりも多い。
イ 十分から二十九分と答えた人は全体の半分である。
ウ 全体の六割近くの人が、一日に十分以上読書をしている。

一 ろう読げき『かさこじぞう』を、たくさん的人に見に来てもらいたいという気持ちをこめて、そのしようかいの文を考えています。あなたなら

□ の部分をどのように書きますか。

三 学校放送で読み聞かせの連絡を行います。次の十一月十二日の連絡を参考にして、十一月二十六日の読み聞かせについての内容を、二つの文で書きましょう。

十一月十二日、木曜日の読み聞かせは、「おまえうまそだな」という本を読んでもらいます。
十三時十分から、図書館で、「おまえうまそだな」という本を読んでもらいます。

活用 おたよりを読んで

名前 答えとせつめい

◇次の図書室だより「本★だいすき！」は、図書委員会の江島さんが担当の先生といっしょに作ったものです。この図書室だよりを読んで、あとで問い合わせに答えてみましょう。

◆ 11月は読書月間です。みなさんにお読みいただきたいというイベントを行います。

- イベントその1 ろう読げき『かさこじぞう』
 - ・11月25日(水) 13:15~13:40
 - ・楽しい朗読劇を行います。

- イベントその2 しおりコンテスト
 - ・11月2日(月)から9日(月)
 - ・世界に1つだけのしおりを作ってみませんか。
くわしくは図書室にあるポスターを見てください。

あなたの1日の読書時間はどれくらい?

〔授業以外で1日のうちに読書をする時間〕(平成21年4月調査)

時間帯	割合(%)
1時間より多い	10
30分～59分	18
10分～29分	35
10分より少ない	23
まったく読まない	12

(佐賀県の小学5年生 約8千人を対象にしています。)

読み聞かせカレンダー【11月】

日付	題目	時間	場所
12日(木)	「おまえうまそだな」	13:10～13:30	図書室
26日(木)	「三年ねたろう」	13:15～13:30	多目的ホール

―― ろう読げき『かさこじぞう』を、たくさん的人に見に来てもらいたいという気持ちをこめて、その紹介の文を考えています。あなたなら□の部分をどのように書きますか。

みんなで来てください。みんな、見に来てくださいね。友だちをさそって来てください。など

―― 一日の読書時間についてのグラフの説明で当てはまるものを選び、記号で書きましょう。

ア 一時間より長く本を読んでいる人は、まったく読まない人より多い。
イ 十分から二十九分と答えた人は全体の半分である。
ウ 全体の六割近くの人が、一日に十分以上読書をしている。

―― 学校放送で読み聞かせの連絡を行います。十二日の連絡を参考にして、二十六日の読み聞かせについて二つの文で書きましょう。

十一月十二日、木曜日の読み聞かせは、十三時十五分から行います。場所は多目的ホールで、「三年ねたろう」という本を読んでもらいます。

十一月二十六日、木曜日の読み聞かせは、十三時十五分から行います。場所は多目的ホールで、「三年ねたろう」という本を読んでもらいます。

ウ

グラフに書かれていることを読み取る問題です。アは一時間より長く読む人とまったく読まない人の割合を比べたらいいですね。イは何%なのかを確かめて、半分(五十分)より多いかどうかを見ればいいですね。ウは、十分以上読む人が全体の何%になるかを確かめるといいですね。

「おまえうまそだな」の例を参考にして書きましょう。実際に放送する時には、期日や時間、場所、内容については、ゆっくり大きな声で話したり、繰り返したりして、正しく伝わるようにしましょうね。